

ひ ろ ば

社会福祉法人天上会 広報誌

2021年 春号





コロナ禍での イベント・活動紹介



新樹樂園

季節行事

運動会

支援員 前原 孔太

11月11日、例年は法人全体で行っていた運動会でしたがコロナの感染予防のため、樂園のみで行いました。少ないプログラムでの開催でしたが、小さな運動会は一人ひとりが主役になって活躍出来る楽しさがありました。盛り上げ隊職員によるダンスも披露しました。保護者の皆様も温かく見守ってください、アットホームな雰囲気で楽しい運動会になりました。



秋祭り

支援員 平井 健志郎

今年は樂園だけで秋祭りを開催しました。ステージではカラオケや歌の合唱、利用者・職員による踊りや出し物がありました。プログラム終了後は、たこ焼きやわたあめ、アメリカンドッグや焼きそば等の屋台メニュー、的当て、輪投げ等のゲームを楽しみました。

保護者の皆様ご協力ありがとうございました。



クリスマス会

支援員 新下 徹

今年のクリスマス会はコロナ感染予防の為、4年ぶりに樂園内で開催しました。

活動室でクリスマスソングの合唱やジェスチャーゲームを行った後、トナカイとサンタクロースに扮した利用者さんからプレゼントを受け取ると、「サンタさんありがとう!」「何かなー?何が入っているのかな?」と笑顔でワクワクが溢れる言葉が飛び交いました。昼食は鹿屋大黒グランドホテルからクリスマスマニューレをテイクアウトし、シャンメリで乾杯した後に、美味しくいただきました。今年のクリスマス会も思い出に残るものになりました。





カイロス

イベント・活動

1日レク

サービス管理責任者 新保 真一

11月上旬のコロナがまだ落ち着いていた時期に、活動班で分かれて1日レクを行いました。コロナ禍にあって、利用者の皆様には行動自粛をお願いしていたため、楽しみが持てない方もいらっしゃったと思います。レクでは、日々の仕事を頑張っている仲間と観光や美味しい食事、買い物をして過ごされ、普段よりも多くの笑顔が見られました。しばらくは「また行きたいね」と思い出話に花が咲き、同時に、早くコロナ前の日常が戻ってきてほしいなと思う事でした。



めぶき園

イベント・活動

公開療育

保育士 牧かれん

令和2年8月28日(金)にめぶき園で就学予定児の公開療育を開催しました。例年では子ども達と保護者の方に来て頂き、ミュージック・ケアで親子の様子を地域の小学校や養護学校、教育委員会の先生方に見て頂きます。しかし、今年度はコロナ感染対策の為、先生方のみの参加となりました。

当日は、地域の小学校、養護学校、教育委員会の先生方を合わせ10名参加して下さいました。最初に療育の様子をパワーポイントで見て頂き、その後情報交換を行いました。終了後のアンケートでは、“詳しく情報交換ができ、めぶき園の取り組みがよく分かりました”“保護者の最終的な就学の意思を確認しながら、学校としても対応を考えていきたいと思いました”等、たくさんのご感想を頂きました。

就学に向けて、学校見学や就学相談会を通して子ども達の進路が決まっていきます。私達は保護者の方、小学校の先生方と連携を取り、保護者のニーズに沿ってサポートし、子ども達が安心して就学を迎えるように支援していきたいと思っています。



わたぼうし

イベント・活動

エアポリン

支援員 桦井 明希

今年度、わたぼうしでエアポリンを購入しました!!

今年はコロナ禍で行事や外出の機会も減り気分も減入ってしまうところですが、大きなエアポリンでストレス発散。

月に2回程、体を動かす目的でエアポリンを楽しんでいます。皆さん空気が入るのを心待ちにし、準備が出来ると我先にと飛び乗っています。

エアポリンの上で飛び跳ねる方、揺れを楽しんでいる方など様々ですが時間いっぱい楽しめています。





新樹樂園

支援員

持留 佳美

- ①前職では、別職種で長年勤めてきましたが、以前からしてみたかった支援員の仕事に就け、未経験の身ではありますが、利用者お一人お一人に合わせた気配りの出来る支援員を目指して頑張りたいと思っております。
- ②観察力と信頼関係
- ③好きな映画を観て泣いたり大笑いして、気分をリセットする。
- ④「凡事徹底」... 当たり前のことを行なうこと



照葉の森

世話人兼宿直

前田 昭一

- ①努力
- ②冷静さを忘れない
- ③運動（テニス）
- ④七転び八起き

新任職員紹介

新たに当法人に入職した12名の職員をご紹介します。
新しい仲間と共に、より質の高いサービス提供に努めて参ります。



- ①アピールポイント
- ②仕事に欠かせないもの
- ③リフレッシュ方法
- ④好きな言葉



照葉の森

世話人

森 健二

- ①気持ちだけは若いです（見た目も！）
- ②責任感と思いやり
- ③温泉とダーレヤメ
- ④ありがとう



わたぼうし

送迎員

下園 良臣

- ①知らない人でもすぐ話が出来る
- ②チームワーク 努力
- ③釣り、海に行く
- ④幸せはいつも自分の心が決める（相田みつを）



わたぼうし

支援員

重信 昌啓

- ①何事にも今の自分の出来ることは精一杯しようとすると所（長所でもあり短所でもあります）
- ②元気、健康
- ③服飾・雑貨等を見に行ったり、海・山辺等景色を散策に行なっています。
- ④ありがとう



はなのこ園

作業療法士

出石 真奈美

- ①よく笑うこと
- ②毎日の睡眠
- ③音楽を聴くこと、好きなものを食べること
- ④楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ。



学童療育るうと

言語聴覚士

戸田 直人

- ①わりとポジティブです
- ②コミュニケーション
- ③サイクリング、ゲーム
- ④一期一会



カイロス

支援員

右田 明日香

- ①割と根性あると思います
- ②目配り・気配り・心配りができるよう心掛けたいです
- ③キッキンに居る事・寝る事が好きです
- ④どんな人と出会うかで人生は変わる誰と出会うかは自分が決める



カイロス

支援員

松元 良一

- ①愚直に頑張れること
- ②人にに対する思いやり
- ③好きなこと（ランニング、家庭菜園）に打ち込む
- ④初志貫徹



カイロス

送迎員

西久保 浩

- ①和を以て職務に努めます
- ②責任
- ③ゴルフ（打ちっぱなし程度）
- ④山高きが故に尊からず



本部事務所

事務員

松下 由里

- ①根性あります!!
- ②笑顔と目薬と指サック
- ③子どもとダラダラする
- ④千里の道も一歩から



本部事務所

事務員

稻田 聰

- ①やる事は、締め切り近くではなく、出来るだけ早く済ませる事
- ②人ととのコミュニケーション
- ③温泉巡り、映画鑑賞
- ④人の振り見て我が振り直せ

永年勤続

定年退職を迎えて

本部事務所 山元 りょう子

平成 13 年 11 月に入職してからはやくも 19 年という年月が経ちました。

今までを振り返りながら、頑張ってこれたのは、理事長はじめ上司、先輩の皆様、同僚後輩の皆様のお陰であると実感しております。そして、利用者の生活を支え、利用者の人生に寄り添う場、天上会という施設の事業所で働く事ができたこと、居場所があつた事は本当に有難く感謝の思いでいっぱいです。

長い年月には心折れそうになった時もありましたが、大変な事ばかりではなく、利用者の方とのふれあいは心の癒しとなり困難なことも乗り越えられたのだと思います。

定年退職を迎える、人間としてはまだ未熟ですので、これからはこれまで培った物事の考え方や経験を生かしながら、又、これから毎日が益々充実した日々となるよう楽しみながら努力していきたいと思います。

追悼 赤野 昭一さん

新樹楽園支援員 前原 孔太

昨年7月15日、赤野昭一さんが48歳でご逝去されました。令和元年11月、運動会翌日に様子がおかしいと病院へ行き、そのままS状結腸捻転の手術を受けました。その後も入退院を繰り返しながら病気と向き合って生活を送っていました。毎日出勤すると人懐っこい笑顔で迎えて下さり、一緒にアニメや特撮の歌を歌ったり、職員や利用者さんと冗談をして笑い会ったり、明るく素敵な時間を私達に与えて下さいました。入院中も病室へお見舞いに行くと、普段と変わらない様子で笑って出迎えて下さり、一緒にアニメを見たり、歌ったりする中で、いつか元気に楽園に戻ってきてくださるのだと皆が信じていました。

いまだに昭一さんの部屋を見ると、笑顔で手を振っている姿が目に浮かび寂しさがこみ上げてきます。昭一さんと過ごした日々を忘れず、今後も利用者さんの支援にあたっていきたいと思います。ご冥福をお祈りいたします。



人権委員会の活動について

【人権標語への取り組み】

各事業所から委員を選出し権利擁護委員会を毎月開催しています。権利擁護への取り組みとして、「人権侵害ゼロへの誓い」の周知と署名活動、「人権侵害チェックリスト」を活用した年2回のセルフチェックに加え、チェックリストから抽出された人権侵害と思われる事案について改善策を立て年間通して取り組み、法人内研修のなかで取り組み状況の確認をしています。また、人権侵害防止研修会等への参加の促進も行っています。

そんな権利擁護委員会の活動の一環として、平成25年から取り組んでいるのが、「人権標語」です。2ヶ月毎に各事業所より人権標語を募集し、委員会で吟味し決定されたものを各事業所内に掲示し、権利擁護意識の向上や気づきにつなげ人権侵害を防いでいくことを目的としています。今回は、そのなかのいくつかをご紹介します。

- 『 やめようよ 自分がされて 嫌なこと 』
- 『 見えますか 声に出さない 心のサイン 』
- 『 見逃すの？ 自分がされたら 嫌だよね！ 』
- 『 考えよう 伝える気持ち 伝わる工夫 』
- 『 意思決定 寄り添う気持ちが 第一步 』
- 『 笑顔には 笑顔を誘う 力あり 』
- 『 偏見は 見え方判断 曇らせる 』
- 『 マスクでも 瞳で分かる 笑い顔 』



永年勤続（20年）

新樹楽園 支援員 松元 あゆみ

新人職員時代、緊張と不安の連続で、何もできないまま一日を終え、先輩職員について行きながらも、利用者さんとうまくコミュニケーションが図れないという日が続いていました。そんな中、園長の河野和子先生が「利用者さんにゆっくりと語りかけてみなさい」「できないことをするのではなく、自分のできること、得意なことを前に出して、利用者さんと過ごす時間を楽しみなさい」と話してくださいました。当時の私には、「利用者さんと笑顔で会話すること…」しかできませんでしたが、その日から自分の気持ちも、利用者さんに寄り添う気持ちも、笑顔で語りかけることも始まったように思います。あれから20年が経ち、新樹楽園の利用者さんも高齢化を迎え、日常の支援も体力向上・増進を目的としたものから、健康維持・機能低下防止へと変わりつつあります。加齢に伴い体調の変化や病気・認知症などがみられるようになり、いつも元気だった生活から、少しづつ年を重ねていく利用者さんと、時には別れを迎える利用者さんもいらっしゃいました。そんな日々の利用者さんとの笑顔のやりとりと優しさに触れられたことが今の私に繋がっていると思っています。

高齢期を迎える利用者さんが、穏やかに健やかに安心して生活できるよう、これからも和子先生から教わった「相手を想う気持ち」を胸に刻み、自分にできることは何かを模索し、日々精進していきたいと思います。

利用者日常のスナップ

新樹樂園



園芸活動



縁日



カラオケ



新樹ストア



ボウリング

照葉の森



GH わかくさ



GH けやき避難訓練



買い物外出



買い物外出

カイロス



七夕



かき氷



1日レク



初詣



パン作り

わたぼうし



初 マック



アイロンビーズ



クッキング



誕生会



クリスマス

めぶき園



さんぽ



さんぽ

保護者さまの声

はなのこ園 祝迫 龍一様

1978gで生まれた小さな柊希は、指が左手は3本、右手は2本、その指のうち1本は今にも折れそうな細さ。他にも、口蓋裂、難聴、などなど重度な障害。



でもでも、親にとっては、無事に生まれてきたことが全てで、どの子とも変わらない生まれたことの喜び。一緒に生きていこうと決意し、ただ、我が子の成長と幸せを願う柊希の誕生日でした。

自分でミルクは飲めないけど、普通の子より成長は遅いけれど、おしゃぶりができたとき、少ない指でおもちゃが握れたとき、寝返りができたとき、寝返りから元に戻れたとき、寝返りで移動できたとき、お座りができたとき、おもちゃ箱からおもちゃを取り出せるようになったとき、その一つ一つのゆっくりとした成長も大きな喜びでした。

普通の子のようにお友達ができるのかも心配でした。



でも、はなのこ園に入園してから、園のお友達と楽しく遊び、みんなとおさんぽ、その日の課題、お昼寝。遠足、公園でのブランコ、季節ごとの行



新樹樂園 生活介護（通所）利用者
保護者 原 康子様

息子と二人暮らしになつて早や30年。息子は重度の自閉症。数々の強い拘りあり。感覚過敏。視野は360度、視力は5.0?と思うくらい、何でも見逃さず突進。耳は常人には聞こえない音域も捉えているのではと思うほど何でもキャッチ。あげく破壊に至ったり、家を飛び出したり、怪我をしたり、迷惑をかけたり。そんな息子ですが、通所日を心待ちにしています。家で母親一人では、なかなか満足な体験をさせてやれませんが、園では先生方がよく関わって下さるので、充実して



いるようです。言葉で伝えられない息子の凝視先を、共に注視して下さるので、次の問題行動を未然に防ぐこともできます。

事。プール、豆まき、かわいかったクリスマス会の衣装。歩行の練習が始まってからは、ダンスも先生に支えられながら踊らせてもらったりしました。

柊希は、はなのこ園が大好き。毎日もらう写真でよく伝わりました。寝返り移動とお座りで、先生のお弁当をのぞき込むといったかわいい行動もうれしいお知らせの一つ。

柊希が天国へ旅立ってから、半年がたちました。今でも、柊希の姿、声、感触、忘れられません。

…みんなが、うらやましがる長いまづげ。
…こち亀の両さんみたいにつながっている濃ゆいまゆげ。
…「あー」という低い特徴のある声。
…だっこしても落ちそうなくらいゆれる前後の動き。
…好きなおもちゃは、オーボールと鈴。

そして、何より、忘れられない、あのすてきな笑顔。

歩けないけれど、お話できないけれど、自分のできることで一生懸命生きてきた柊希。5年9か月でも、みんなの思い出はいっぱいです。ありがとうございます。

はなのこ園のおともだち、先生方、医療、福祉の関係者の皆さんに、かわいがって、過ごさせて頂いた一つ一つが柊希にとって幸せなことだったと思います。ありがとうございました。

また息子のみならず、親も支えられています。どんなに息子が可愛くても、いつも一緒では疲れてしまいます。自分再生、次の週間の準備等々。少し余裕ができると、息子のいい面がよくみえてきます。対人暴力ゼロ、他人を拒まない、寝起きの良さ抜群、病院等嫌がらず、理解できる範囲の積極的な手伝いなどなど。息子なりに頑張っています。

もう親も子も歳を取りました。やがて来る息子の人生の一大事、親元からの巣立ち… 大パニックに陥り、体力の限りの大荒れが予想されます。親は胸がつぶれる思いです。しかし、ここ新樹樂園の先生方が、全力で支えて下さることを信じています。どうかどうかお守り下さい。親の痛切な思いです。

もう一つの願い、樂園の隣に老人ホームができるなら… 即入居申し込み。こちらは夢のような願いです。



カイロス パン工房こかけ リニューアル

支援員 右田 明日香

「パン工房こかけ」の店内がリニューアルされました。木工場で製作した陳列棚に、結工房で丁寧に編んだカゴを置き、その上に焼きたてのパンを並べます。また、壁には、利用者の古藤さんが描いた素敵な絵を飾り、来店するお客様を温かく迎えます。

パンも新作が増えており、昨年10月から登場したラスクは「1袋でいろんな味が楽しめる」と大人気で売り切れの日もある程です。2月には、自慢の食パンを使ったフルーツサンドも作るようになります。どちらも一度食べてもらいたい商品です。ぜひリニューアルした「パン工房こかけ」へ足を運んでいただきたいです。



コロナ禍の中、
たくさんのご厚意・応援
ありがとうございます！



配布
マスク

配布日	配布元	寄附物品	数量(枚)
2020年4月6日	厚生労働省	マスク	130
〃 4月30日	肝付町	マスク	500
〃 5月14日	天主会理事	マスク	500
〃 5月15日	大隅半島スマートエネルギー(株)	マスク	150
〃 7月9日	鹿児島県	マスク	600
〃 7月9日	肝付町	マスク	500
〃 7月13日	厚生労働省	布マスク	400
〃 7月15日	厚生労働省	布マスク	120
〃 7月16日	厚生労働省	布マスク	70
合 計			2,970

配 布 日	2020年7月9日
配 布 元	肝付町
寄附物品	ソフト水
数 量	3.5ℓ

以降、毎週

消毒液

編集
後記

2020年は新型コロナ感染症の拡大に伴う緊急事態宣言や7月豪雨災害など、想像だにしなかったことが相次ぎ、あっという間に月日が過ぎ去った1年でした。「新しい生活様式」という言葉がコロナ渦の中たくさん言われるようになり、リモート会議、テレワーク、通販でお買い物、食事は密を避けて少人数かデリバリー…。「人と人とのつながり」をより大切に感じる日々でした。

早いもので社会福祉法人天主会に入職し、4年目になります。めぶき園で日々こども達と関わらせていただいている。元気いっぱい、無邪気でかわいいこども達と過ごす中で嬉しいこと、楽しいこと、時には悲しいことを共有し、たくさんの笑顔をもらっています。「人と人とのつながり」が少なくなっている今、こども達と過ごすことができている日々に感謝し、より一層1日1日を大切にしていきたいと思います。

最後になりますが、コロナ渦の中無事発行となる「ひろば春号」に携わっていただいた全ての方に感謝を申し上げると共に、1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を祈って編集後記を締めくくりたいと思います。
(牧かれん)

広報委員：前田、城野、松元、倉園、前原、舛井、右田、牧

社会福祉法人天主会 広報誌「ひろば」2021年春号 発行日:2021年4月10日 発行:社会福祉法人天主会 理事長 前田智史 制作:(有)広和印刷